



第2学期始業式式辞 ～人生は敗者復活！～

久々に朝の立哨指導に立ち、日焼けした生徒たちの顔を見て、夏休み中の頑張りがうかがえました。始業式はリモートで実施しましたが、全員の真剣な眼差しに意気込みが感じられました。

皆さん、おはようございます。夏休み42日間はいかがでしたか。記録的な猛暑と言われていますが、この暑さはまだまだ続くようです。さて、この夏休みは皆さんの県大会や関東大会へ応援に行ったり、陸上関係の役員として、関東大会や全国大会へ行ったりして、あっという間に過ぎてしまいました。そして、世界陸上で北口選手が女子やり投げで金メダルを獲得したり、男子バスケのワールドカップで日本チームが初めてヨーロッパチームに勝利したりと世界的なスポーツ大会も開催されていました。そこで、この夏のスポーツイベントで最も印象に残ったことを紹介します。

これは、ヤフージャパンのリアルタイム検索でトレンド入りした言葉を含むコメントです。原文を読ませていただきます。“慶応がただただ強かった。完敗です。選手たちも最高のプレーをしてくれた。点差は開いたけれど、今まで以上の最高のベストゲームだった。2年間で頂点、そしてあと一つの悔しさ、共に味わうことができた。人生は敗者復活です。この経験を次に生かします。2年続けてこの決勝の舞台に連れてきてくれた3年生に対して感謝を伝えたい。”というものです。これは、本年度の甲子園で準優勝をした仙台育英高校の須江監督のコメントです。昨年度も2学期の始業式で須江監督のコメントを使わせていただきました。実は、須江監督のコメントは、昨年度もネットで凄く話題になりましたが、本年度は優勝した慶応高校よりもヤフージャパンの検索数が上回ったのです。さらに、慶応高校の優勝インタビューの際、ずっと拍手を続ける監督と選手の姿が話題になりました。須江監督は、いつかこの日がくることを想定して、負けた時こそ人間の価値が出るという考えから、グットルーザーであれと言いつつ、自分自身が選手に範を示し、選手たちもそれに応えたのです。

勝負事での勝者は、ほんの一握りで、ほとんどが敗者となります。グットルーザーとは『潔く負けを認める人』を言います。言い訳することなく、相手を称えることが、次の第一歩となり、その負けから得た多くのことを次に生かせるのだと思います。

さて、1年で一番長い2学期を迎えるに当たって、1学期の終業式でお願いしたことの確認をします。1年生は学習面と部活動を、より充実させてください。2年生は自分の将来について、より真剣に考え行動に移してください。3年生は自分の進路実現に向けて、より本格的に取り組んでください。これを受けて、皆さん自身が、何を目標にし、その達成のために、具体的に何をしたらよいかをぜひ考え、その実現に向けて、毎日こつこつと石を拾うように積み重ねていってくださいとお願いしました。その上でも、自分自身をメタ認知することが大切だとお伝えしました。皆さんは、1学期を振り返り、この夏休み中に2学期へ向けて『いい準備』ができましたか。

私からは、改めて2学期の目標を三つ挙げて、皆さんにお願いします。一つ目は課題でもある学習面です。家庭学習の時間は、一般的に『学年+1時間』とよく言われます。6月の調査では、テスト期間中の平均学習時間が全校で約2時間半でした。これを11月には最低でも30分プラスして3時間にしてください。テスト期間だけでなく、日頃から取り組めるのが理想です。

二つ目は部活動やクラブ等での活動です。新たな課題として、特設駅伝競走部の活動を通して、駅伝リーダーの育成、基礎体力を向上させて運動部全体の強化を図ること、部活動地域移行の有効活用、最後まで諦めず全力を尽くす精神の育成など、魅力ある部活動を実施し、吹上中に進んで入学したいという新生が増えると嬉しいです。

三つ目は皆さんが大好きな学校行事です。2学期は「合唱コンクール」「いぶき祭」、そして4年ぶりに復活した「駅伝大会」があります。それらの行事を通して、更にクラスの絆を深めるとともに、それぞれの集団の中で、自分ができるリーダーシップを発揮したり、新たに挑戦して新しい自分を発見したりして、一人一人が行事ごとに成長してくれることを期待しています。

以上、2学期は一番長い学期と言われるかもしれませんが、授業日数は78日間と1学期と1週間ほどしか変わりません。その中に大きな行事も含まれています。長いからと言って、やるべきことを後回しにしていると遅れをとってしまうこともあります。それぞれの目標に向かって積極的にチャレンジし、失敗したとしても、そこから学んで敗者復活しながら進化していってくれることを祈念して、第2学期始業式の式辞といたします。



○**県総体ハンドボール大会(7/7・8)**

大平・吹上合同チーム
1回戦敗退
16-24(vs野木)



HC栃木チーム
1位 男子 優勝
女子 優勝



吹中生

○**関東ハンドボール大会(8/8・9)**

HC栃木チーム
男子 1回戦敗退
女子 2回戦敗退



○**県総体卓球大会(7/15~17)**

女子シングルス 第6位 ●●●●●●
女子ダブルス
ベスト8 ●●●●●●●●●●



○**関東卓球大会(8/10)**

女子シングルス
1回戦敗退 三村桜子



○**県総体バレーボール大会(7/24)**

1回戦 2-0(vs姿川)
2回戦 0-2(vs佐野南)



PTA親子ふれあい奉仕作業(7/23)



本年度から生徒も参加し、『PTA親子ふれあい奉仕作業』とし、多くの保護者の皆様にご協力をいただき、除草や草刈りを実施いたしました。当日は曇り空で思ったより涼しく、昨年よりも参加人数が多かったこともあり、作業をスムーズに進めることができました。また、本校周囲の法面まで草刈りをしていただき、大変助かりました。休日にもかかわらず、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

吹上ブロック合同研修会(8/1)



本校教職員と吹上小・千塚小の教職員で第2回目の小中合同研修会を実施いたしました。宇都宮大学の 良先生をお招きし、「多様な性と子どもの権利」という演題でご講話を拝聴したり、本校学区の様々な課題について、いくつかの班に分かれて話し合いをしたりと大変有意義な時間を過ごしました。今後は、この研修で学んだことを生かして、更に充実した小中一貫教育を進めていきたいと思っています。



モスグリーン効果～安心感やリラックス～



今、『苔テラリウム』が密かなブームになっています。ガラス容器に土台となる土を入れ、そこに苔やシダ類、小さな植物を植えたり、石や小さなフィギュアなどで様々な雰囲気を作り出したりして、職場や自分の部屋などに飾ります。小さなコップから大きな水槽と、大きさはそれぞれですが、部屋の中にちょっとした緑があると大変落ち着くし、おしゃれに感じます。

植物や森林をイメージさせる緑色は、安心感やリラックス効果が期待できると言われます。モスグリーンのような深い緑色は、森林の中にいるように、穏やかな雰囲気にしてくれます。私もそれを求めて、校長室に苔テラリウムを飾って約2か月になりました。室温や湿気に気を配ったり、適度に光を当てたりと、面倒を見るのがやや大変ですが、いつも癒やされています。考えてみれば、吹上中は天然の苔テラリウムのようなものです。自然の緑に囲まれ、森林のモスグリーンが吹中生を穏やかな雰囲気にはしているのではないかと改めて感じました。